USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

# Optoma

# HD29H

**このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？**

**www.mplamps.co.jp**

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

# プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのOptoma HD29Hの交換用ランプは、現在入手可能です。



**Optoma HD29Hプロジェクターランプ**

部品番号：BL-FU200E / SP.7EH01GC01
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

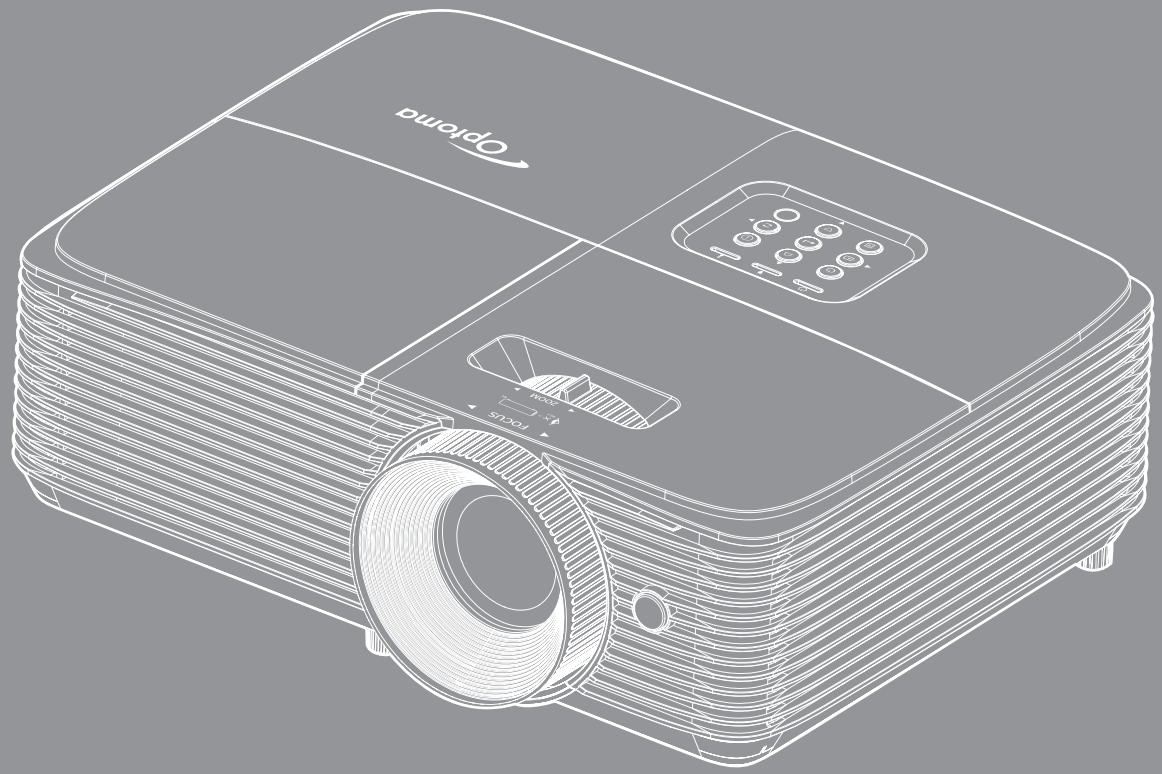
## 21,930円から

**コードをスキャンするかアクセスする**

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Optoma/HD29H.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

# DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル

# 目次


## 安全 ..... 4

*安全に関するご注意 ..... 4*
*3D 安全情報 ..... 5*
*著作権 ..... 6*
*免責条項 ..... 6*
*商標認識 ..... 6*
*FCC ..... 7*
*EU諸国への適合宣言 ..... 7*
*WEEE ..... 7*

## はじめに ..... 8

*パッケージの概要 ..... 8*
*標準アクセサリ ..... 8*
*オプションのアクセサリ ..... 8*
*製品の各部名称 ..... 9*
*接続 ..... 10*
*キーパッド ..... 11*
*リモコン ..... 12*

## 設定と設置 ..... 13

*プロジェクターを設置する ..... 13*
*ソースをプロジェクターに接続する ..... 15*
*投射画像の調整 ..... 16*

## プロジェクターを使用する ..... 19

*プロジェクターの電源を入れる/切る ..... 19*
*入力ソースを選択する ..... 20*
*メニューナビゲーションと機能 ..... 21*
*OSD メニューツリー ..... 22*
*表示画像設定メニュー ..... 29*
*ディスプレーの強化されたゲームメニュー ..... 31*
*ディスプレーの 3D メニュー ..... 31*
*アスペクト比メニューの表示 ..... 32*
*表示エッジマスクメニュー ..... 33*
*表示ズームメニュー ..... 33*
*表示画像シフトメニュー ..... 33*
*表示キーストンメニュー ..... 33*
*オーディオミュートメニュー ..... 33*
*オーディオボリュームメニュー ..... 33*
*投影設定メニュー ..... 34*
*ランプ設定メニュー ..... 34*
*フィルタ設定メニュー ..... 34*
*電源設定メニュー ..... 34*

セキュリティ設定メニュー ..... 35
HDMI Link 設定メニューの設定 ..... 36
テストパターンメニューの設定 ..... 36
リモート設定メニュー ..... 36
オプション設定メニュー ..... 37
リセットメニューの設定 ..... 38
情報メニュー ..... 38

**保守管理 ..... 39**

ランプの交換 ..... 39
ダストフィルタの取り付けと洗浄 ..... 41

**追加情報 ..... 42**

対応解像度 ..... 42
イメージサイズと投射距離 ..... 45
プロジェクターの寸法と天井取り付け ..... 46
IR リモートコード ..... 47
トラブルシューティング ..... 49
警告インジケータ ..... 51
仕様 ..... 53
Optoma 社グローバルオフィス ..... 54

# 安全

| | |
|---|---|
|  | 正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。 |
|  | 正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。 |

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

## 安全に関するご注意




- 光線を目に入れないでください (RG2)。
  あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクタ内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5°C～40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は10%～85%の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクタに液体をこぼした。
  - プロジェクタを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

- お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。*39-40*ページに記載されている指示に従ってください。
- 本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の「設定 ｜ ランプ設定」メニューにある「ランプリセット」機能をリセットします。
- プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、「ランプの寿命が過ぎています。」というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**注記:** *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。「ランプの交換」(39-40 ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

- *振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。*
- *レンズを素手で触らないでください。*
- *保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。*
- *石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。*

## 3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

**警告**

幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

**光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク**

- プロジェクタの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。

- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4)眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5)混乱状態、(6)吐き気、(7) 意識喪失、 (8)痙攣、 (9)急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D投射の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投射を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D投射の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D投射の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D投射の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、資力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D投射の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクタを設置しないでください。

## 著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2017

## 免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

## 商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link、DLP ロゴは Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は Texas Instruments の商標です。

MHL (Mobile High-Definition Link) および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

## FCC

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

**注意: シールドケーブル**

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

**注意事項**

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

**運転状況**

本装置は、FCCパート15に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。

2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

**注意: カナダにお住まいのユーザーへ**

当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

## WEEE



**廃棄物についての指示**

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

# はじめに

## パッケージの概要

慎重に箱から取り出し、下の「標準付属品」に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

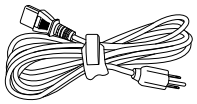
## 標準アクセサリ



プロジェクタ



リモコン



電源ケーブル

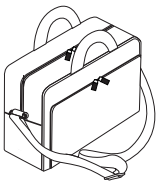
☑ CD ユーザーマニュアル *(1)
☑ 保証書 *(2)
☑ 基本ユーザーマニュアル

文書

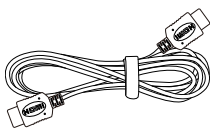
**注記:**

- *リモコンは電池と共に出荷されます。*
- *(1) 欧州のユーザーマニュアルについては、www.optomaeurope.com にアクセスしてください。*
- *(2) 欧州の保証情報については、www.optomaeurope.com にアクセスしてください。*

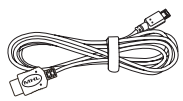
## オプションのアクセサリ



キャリーバッグ



HDMI ケーブル



MHL ケーブル

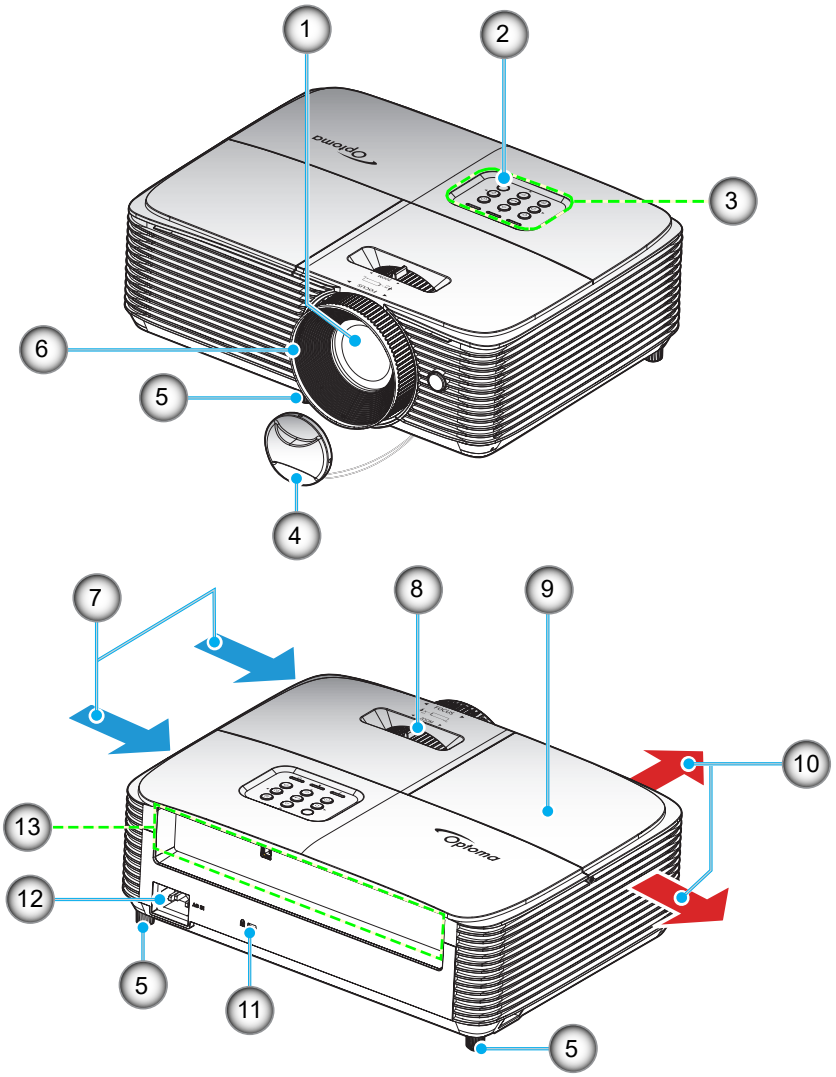


レンズキャップ

**注記:** *オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。*

# はじめに

## 製品の各部名称

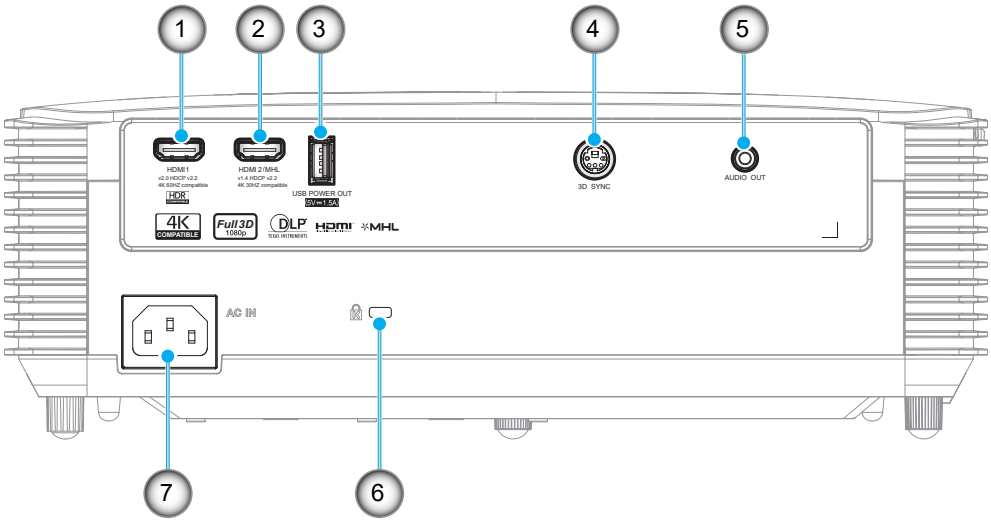



**注記:** *「吸気口」ラベルと「排気口」ラベルの間を少なくとも 20 cm 空けてください。*

| 番号 | アイテム | 番号 | アイテム |
|---|---|---|---|
| 1. | レンズ | 8. | ズームレバー |
| 2. | IRレシーバー設定 | 9. | ランプカバー |
| 3. | キーパッド | 10. | 換気(排気口) |
| 4. | レンズキャップ | 11. | Kensington™ ロック ポート |
| 5. | チルト調整フット | 12. | 電源ソケット |
| 6. | フォーカス リング | 13. | 入/出力 |
| 7. | 換気(吸気口) | | |

# はじめに

## 接続



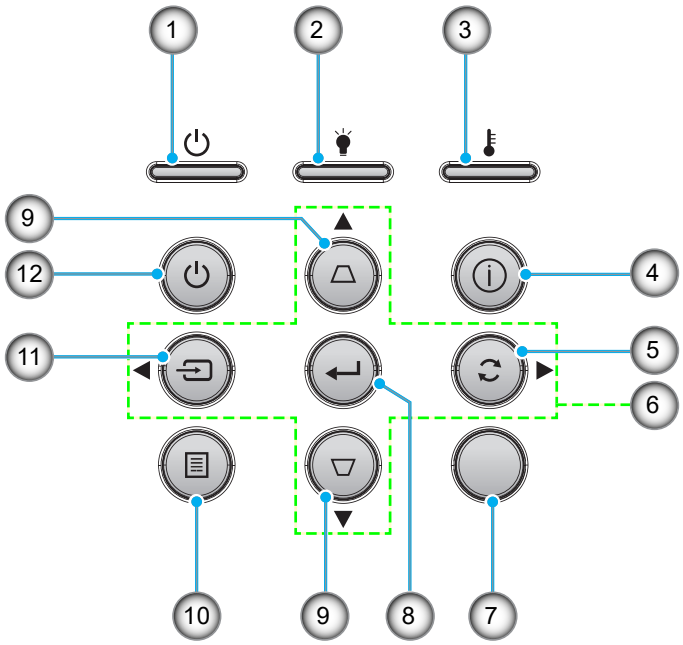

| 番号 | アイテム | 番号 | アイテム |
|---|---|---|---|
| 1. | HDMI 入力端子 | 5. | AUDIO OUT コネクター |
| 2. | HDMI 2/MHL コネクタ | 6. | Kensington™ ロック ポート |
| 3. | USB 出力 (5V 1.5A) コネクタ/<br>マウス/サービス用コネクタ | 7. | 電源ソケット |
| 4. | 3D 同期出力コネクタ | | |

**注記:**

- *画質を最高の状態にして接続エラーを避けるため、最長5メートルまでの高速またはプレミアム認定HDMIケーブルの使用を推奨します。*
- *リモートマウスには特別なリモコンが必要です。*

# はじめに

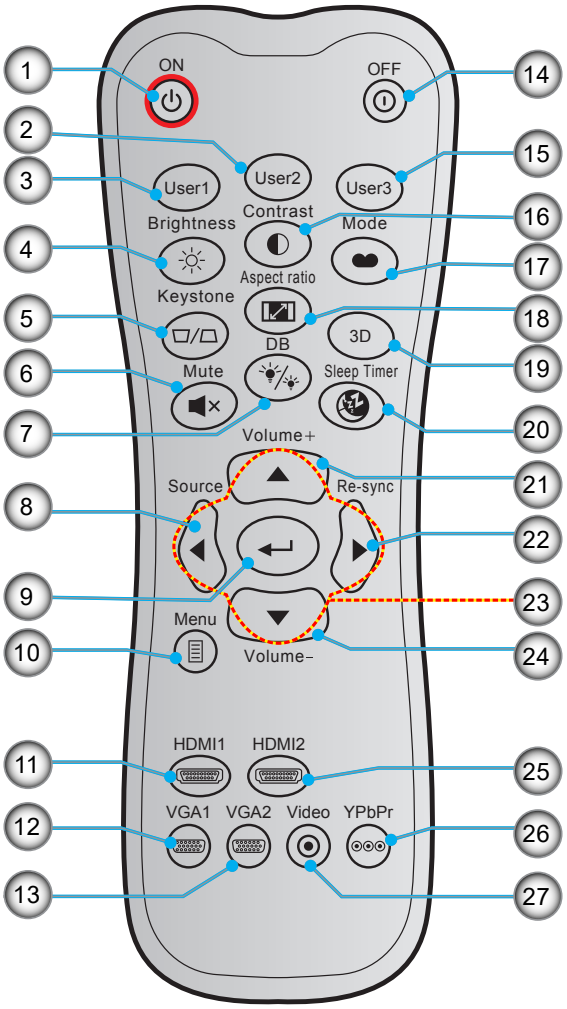
## キーパッド




| 番号 | アイテム | 番号 | アイテム |
|---|---|---|---|
| 1. | オン/スタンバイ LED | 7. | IRレシーバー設定 |
| 2. | ランプ インジケータ LED | 8. | 入力する |
| 3. | 温度インジケータ LED | 9. | キーストン補正 |
| 4. | 情報 | 10. | メニュー |
| 5. | 再同期 | 11. | 入力源 |
| 6. | 4 方向選択キー | 12 | 消費電力 |

# はじめに

## リモコン




| 番号 | アイテム | 番号 | アイテム |
|---|---|---|---|
| 1. | 電源オン | 15. | ユーザー 3 |
| 2. | ユーザー 2 | 16. | コントラスト |
| 3. | ユーザー 1 | 17. | ディスプレーモード |
| 4. | 輝度 | 18. | アスペクト比 |
| 5. | キーストン | 19. | 3D メニューオン/オフ |
| 6. | ミュート | 20. | スリープタイマー |
| 7. | DB (Dynamic Black) | 21. | 音量 + |
| 8. | 入力源 | 22. | 再同期 |
| 9. | 入力する | 23. | 4 方向選択キー |
| 10. | メニュー | 24. | 音量 - |
| 11. | HDMI1 | 25. | HDMI2 |
| 12. | VGA1 (未サポート) | 26. | YPbPr (未サポート) |
| 13. | VGA2 (未サポート) | 27. | Video (未サポート) |
| 14. | Power Off | | |

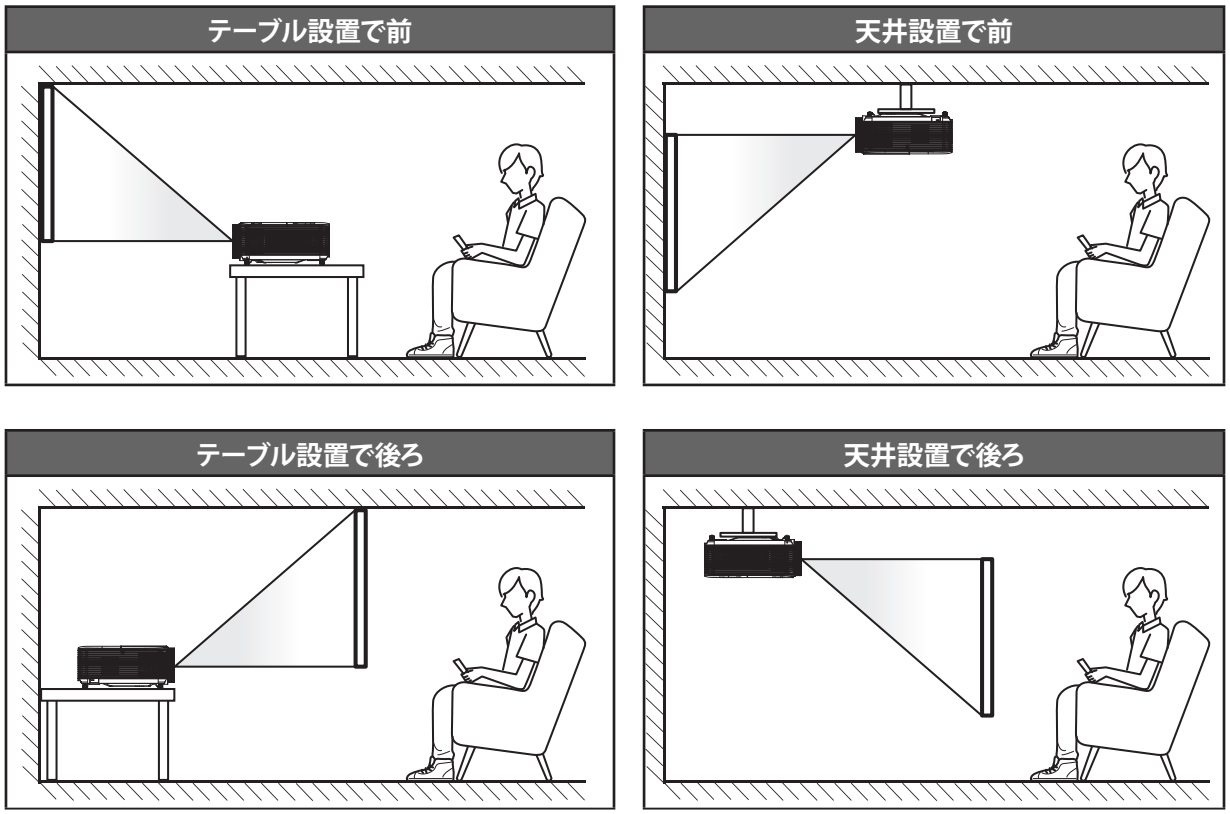
**注記:** *キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。*

# 設定と設置

## プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。




プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*45*ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*45* ページの距離表を参照してください。

**注記:** *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

**重要!**

*机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、Optoma にお問合せください。*

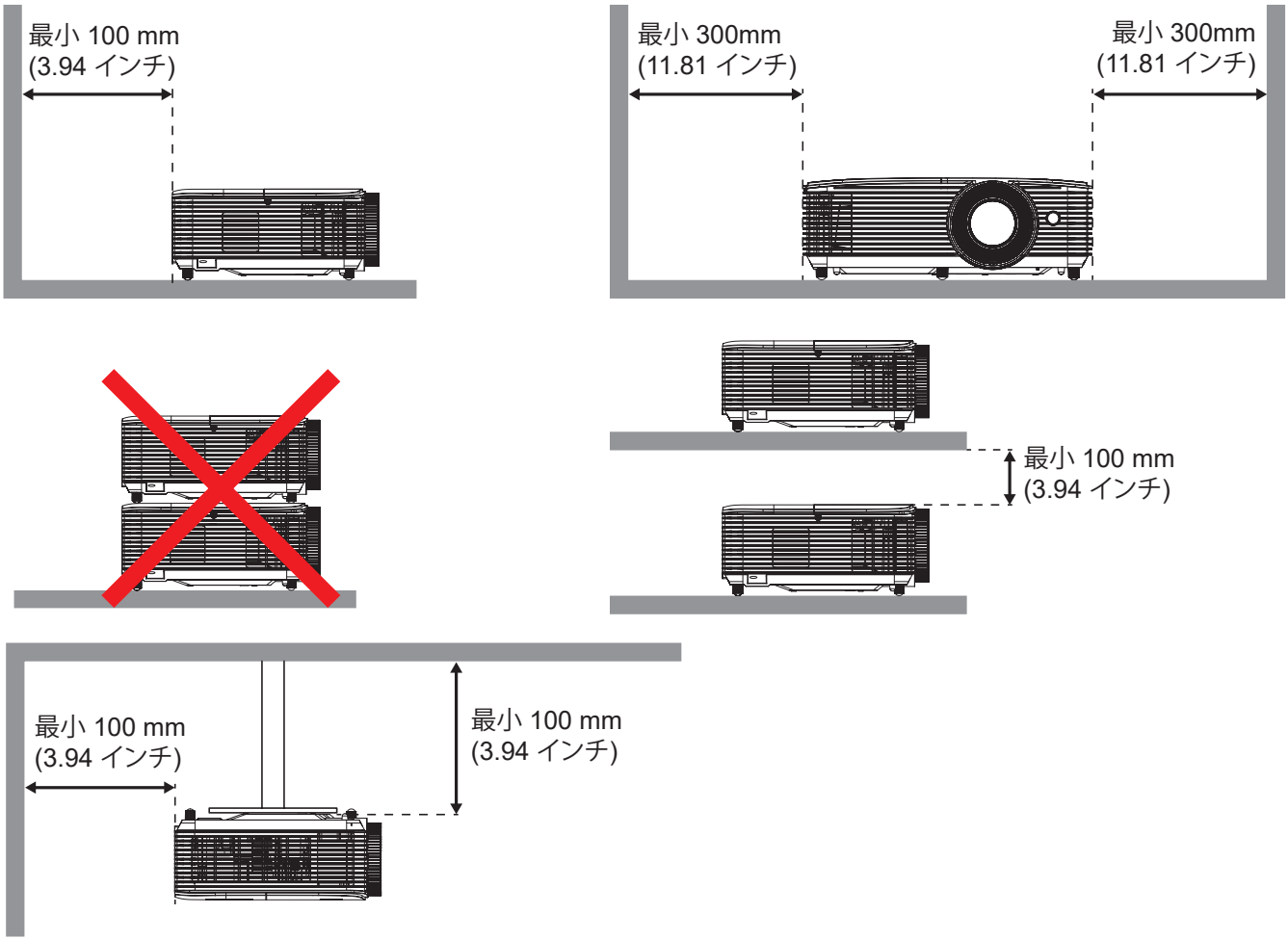
# 設定と設置

**プロジェクターの取り付けに関する注意**

- 水平位置にプロジェクターを配置します。
  **プロジェクターの傾斜角度が 15 度を超えないようにしてください。**また、机上および天井設置以外の方法でプロジェクターを取り付けないでください。そうしないと、ランプの寿命が劇的に減少し、その他の**予期せぬ損傷**につながる恐れがあります。



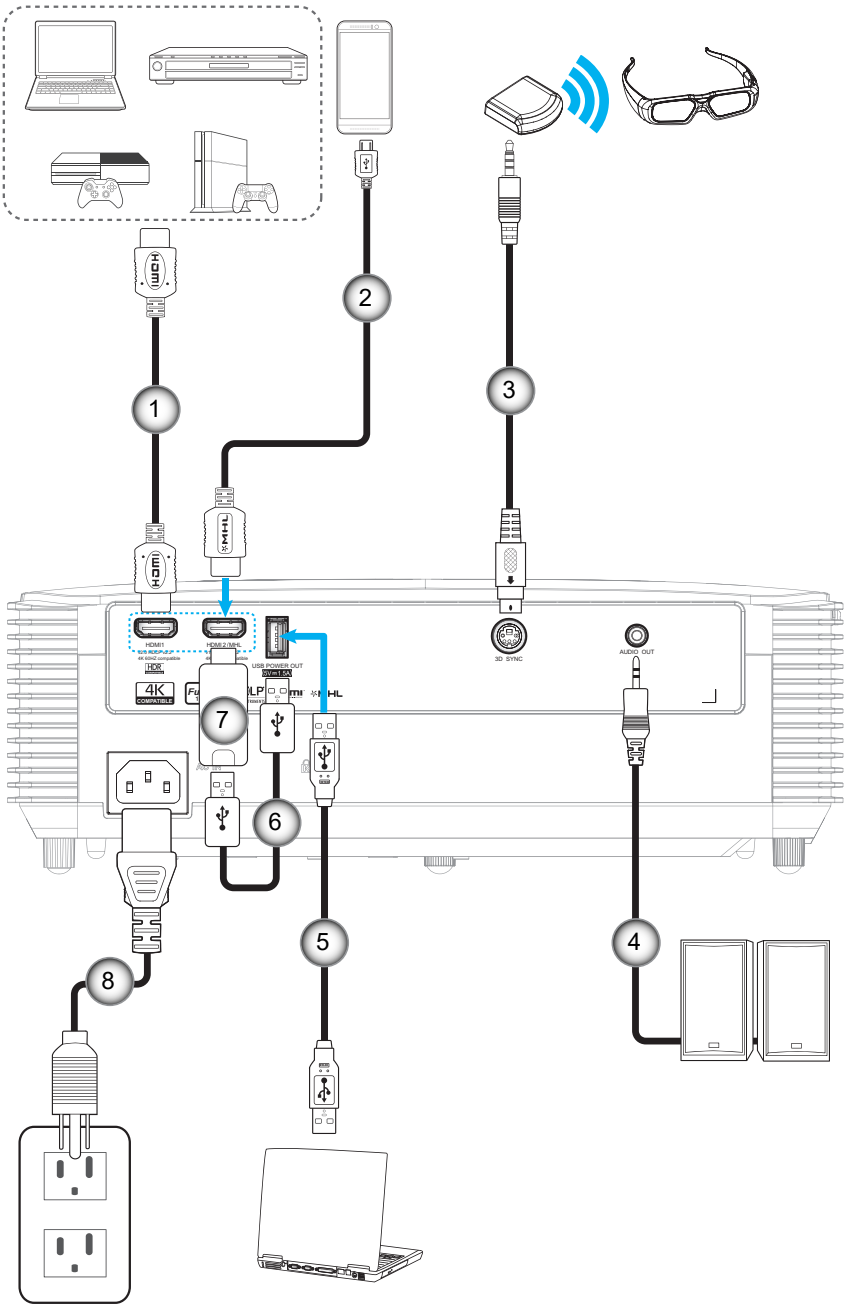

- 排気口の周囲に 30 cm 以上のスペースを確保してください。




- 排気口から出る熱い空気が吸気口から取り込まれないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、エンクロージャ内の周囲空気温度が動作温度を超えないようにしてください。また、プロジェクターの稼働中に吸気口と排気口に障害物がないことを確認してください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性がありますので、すべてのエンクロージャは、プロジェクターが排気を取り込まないように、認定された熱評価に合格する必要があります。

# 設定と設置

## ソースをプロジェクターに接続する




| 番号 | アイテム | 番号 | アイテム |
|---|---|---|---|
| 1. | HDMI ケーブル | 5. | USB ケーブル |
| 2. | HDMI/MHL ケーブル | 6. | USB 電源ケーブル |
| 3. | 3D エミッターケーブル | 7. | HDMI ドングル |
| 4. | オーディオ出力ケーブル | 8. | 電源コード |

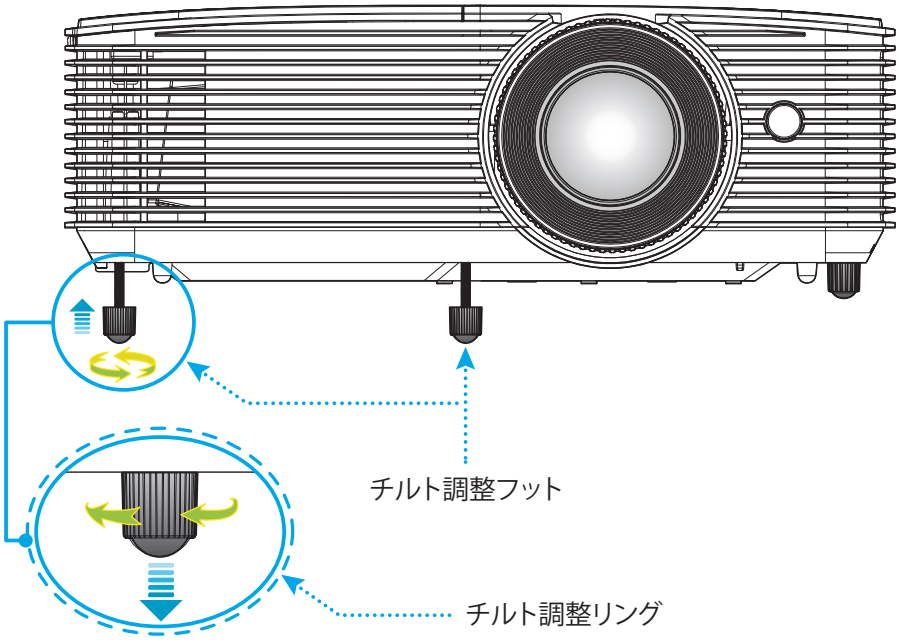
# 設定と設置

## 投射画像の調整

### 画像の高さ

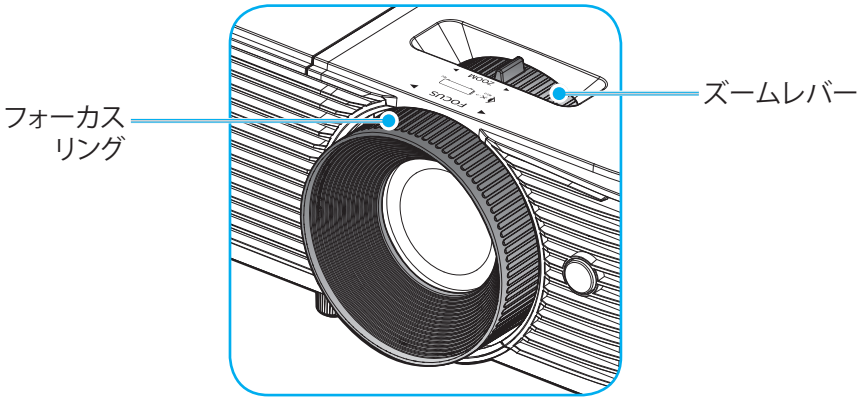
本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクタの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整可能な脚を時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。




### ズームとフォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



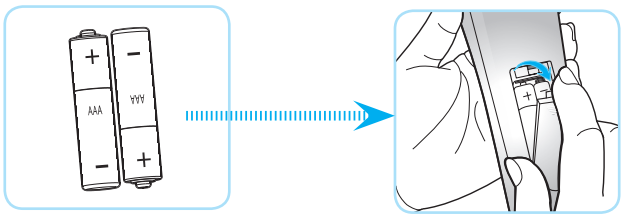

**注記:** *このプロジェクターは 1m ～ 10m の距離でピントを合わせることができます。*

# 設定と設置

**電池の取り付け/交換**

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



**注記:** *交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。*

***注意事項***

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

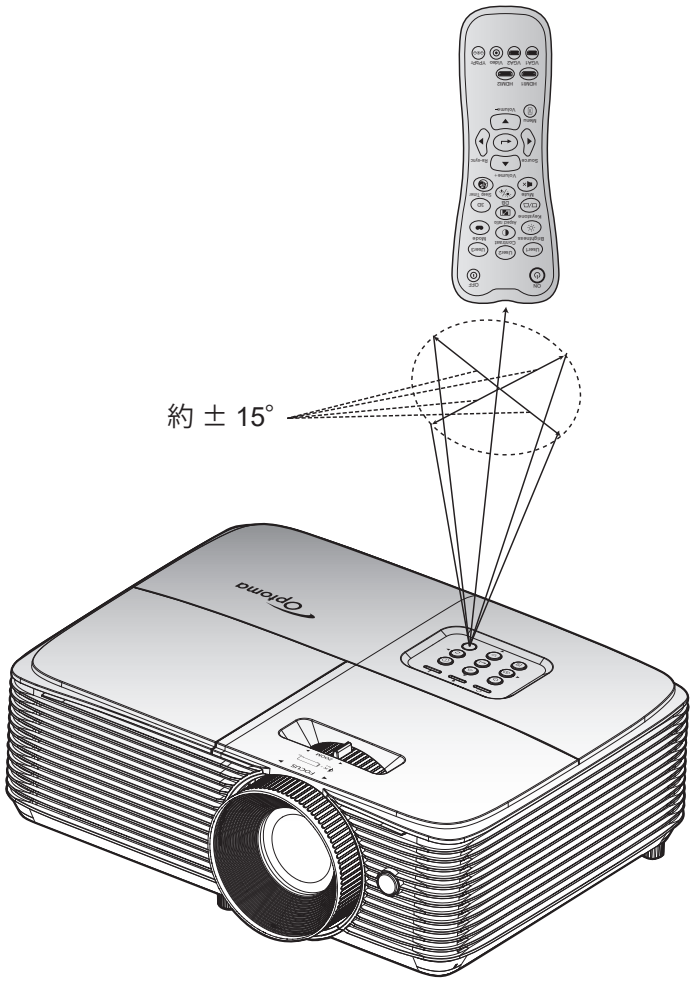
# 設定と設置

**有効範囲**

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの上面の IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 6 メートル (20 フィート) 以内にする必要があります。

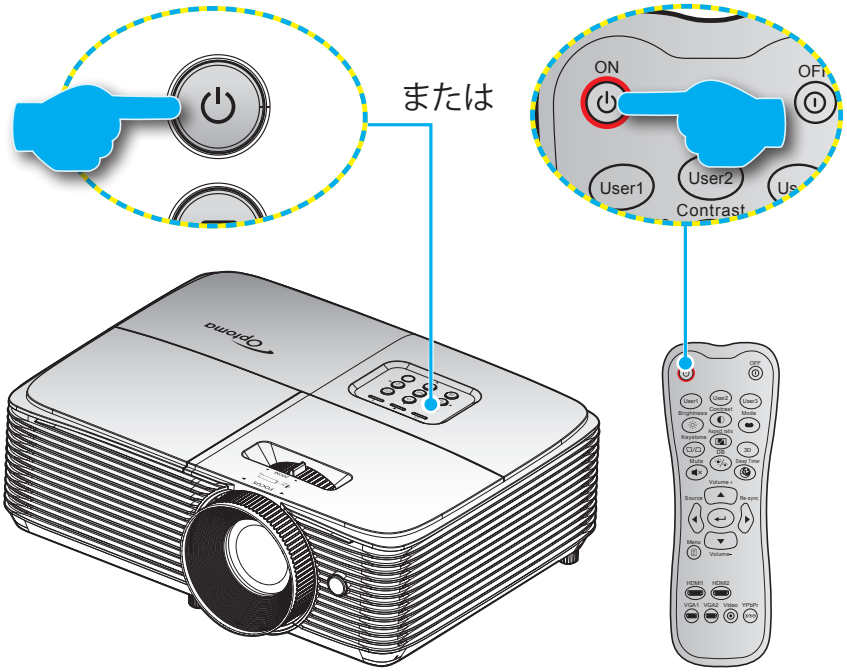
**注記:** *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、8 メートル (26 フィート) を超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 6 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



# プロジェクターを使用する

## プロジェクターの電源を入れる/切る



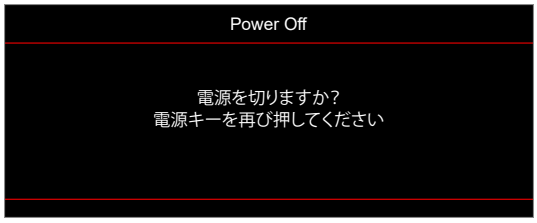

**パワーオン**

1. 電源コードとシグナル/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「⏻」を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が緑色または青色に点滅します。

**注記:** *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。*

**電源オフ**

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「⏻」を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



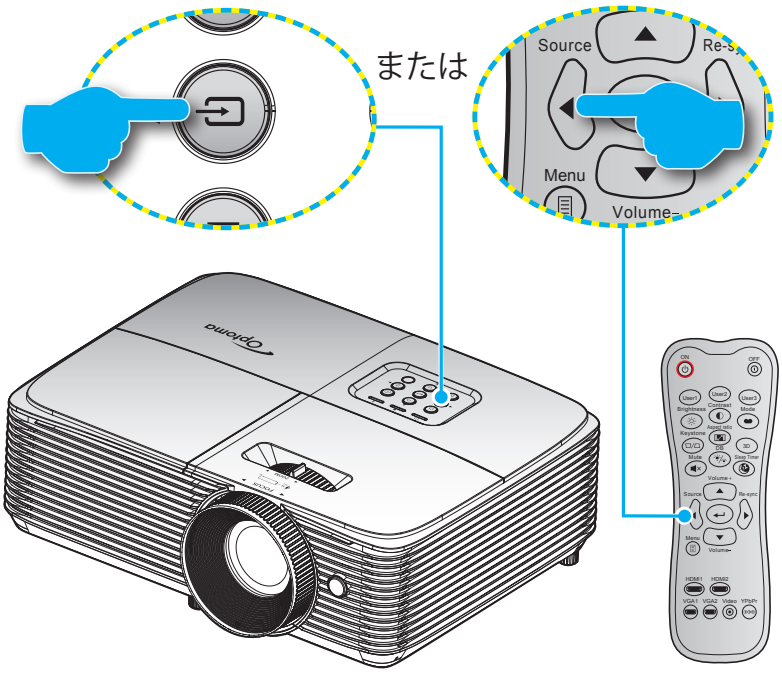

3. 「⏻」ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に「⏻」ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンが約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイ LED が緑色または青色に点滅します。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

**注記:** *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

# プロジェクターを使用する

## 入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンのソースボタンを押し、入力を選択します。

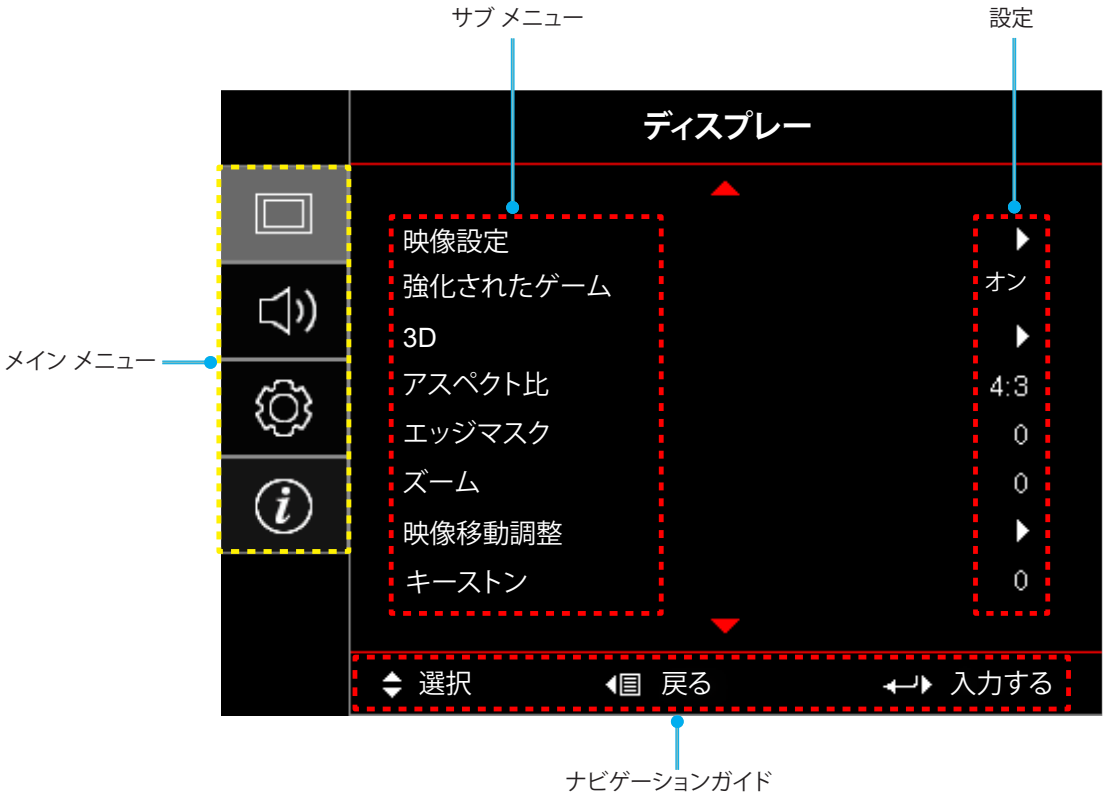


# プロジェクターを使用する

## メニューナビゲーションと機能

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「 ☰ 」ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、「↵」または「▶ 」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ◀▶ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、「↵」あるいは「▶ 」キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「↵」または「▶ 」を押すと設定が確定し、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「◀」または「 ☰ 」を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



# プロジェクターを使用する

## OSD メニューツリー

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| ディスプレー | 映像設定 | ディスプレーモード | | | シネマ |
| | | | | | フィルム |
| | | | | | Vivid |
| | | | | | ゲーム |
| | | | | | リファレンス |
| | | | | | ブライト |
| | | | | | HDR |
| | | | | | ユーザー |
| | | | | | 3D |
| | | | | | ISF昼 |
| | | | | | ISF夜 |
| | | | | | ISF 3D |
| | | ダイナミック範囲 | HDR | | オフ/自動 |
| | | | HDRモード | | ブライト/標準/フィルム/詳細 |
| | | 壁色補正 | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | 黒板 |
| | | | | | ライトイエロー |
| | | | | | ライトグリーン |
| | | | | | ライトブルー |
| | | | | | ピンク |
| | | | | | グレー |
| | | 輝度 | | | -50~50 |
| | | コントラスト | | | -50~50 |
| | | シャープネス | | | 1~15 |
| | | カラー | | | -50~50 |
| | | 色あい | | | -50~50 |
| | | ガンマ | フィルム | | |
| | | | ビデオ | | |
| | | | グラフィック | | |
| | | | 標準(2.2) | | |
| | | | 1.8 | | |
| | | | 2.0 | | |
| | | | 2.4 | | |
| | | | HDR | | |
| | | 色設定 | BrilliantColor™ | | 1~10 |
| | | | 色温度 | | Warm |
| | | | | | 中速 |
| | | | | | 冷色 |

# プロジェクターを使用する

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| ディスプレー | 映像設定 | 色設定 | カラーマッチング | カラー | R [デフォルト] |
| | | | | | G |
| | | | | | B |
| | | | | | C |
| | | | | | Y |
| | | | | | M |
| | | | | | W |
| | | | | 色あい | -50～50 [デフォルト: 0] |
| | | | | 彩度 | -50～50 [デフォルト: 0] |
| | | | | ゲイン | -50～50 [デフォルト: 0] |
| | | | | リセット | キャンセル [デフォルト] |
| | | | | | はい |
| | | | | 戻る | |
| | | | RGBゲイン/ バイアス | 赤ゲイン | -50~50 |
| | | | | 緑ゲイン | -50~50 |
| | | | | 青ゲイン | -50~50 |
| | | | | 赤バイアス | -50~50 |
| | | | | 緑バイアス | -50~50 |
| | | | | 青バイアス | -50~50 |
| | | | | リセット | キャンセル [デフォルト] |
| | | | | | はい |
| | | | | 戻る | |
| | | | カラースペース [HDMI 入力] | | 自動 [デフォルト] |
| | | | | | RGB (0-255) |
| | | | | | RGB (16-235) |
| | | | | | YUV |
| | | ブライトネスモード | | | ブライト |
| | | | | | エコ |
| | | | | | ダイナミック |
| | | | | | エコプラス |
| | | リセット | | | |
| | 強化されたゲーム | | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | 3D | 3Dモード | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | DLPリンク |
| | | | | | 赤外線方式 |
| | | 3D->2D | | | 3D [デフォルト] |
| | | | | | L |
| | | | | | R |
| | | 3D映像フォーマット | | | 自動 [デフォルト] |
| | | | | | サイドバイサイド |
| | | | | | トップアンドボトム |
| | | | | | フレームシーケンシャル |

# プロジェクターを使用する

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| ディスプレー | 3D | 3D同期反転 | | | オン |
| | | | | | オフ [デフォルト] |
| | アスペクト比 | | | | 4:3 |
| | | | | | 16:9 |
| | | | | | LBX |
| | | | | | Native |
| | | | | | 自動 |
| | エッジマスク | | | | 0 ～ 10 [デフォルト: 0] |
| | ズーム | | | | -5～25 [デフォルト: 0] |
| | 映像移動調整 |  H | | | -50～50 [デフォルト: 0] |
| | |  V | | | -50～50 [デフォルト: 0] |
| | キーストン | | | | -40 ～ 40 [デフォルト: 0] |
| オーディオ | ミュート | | | | オフ[デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | 音量 | | | | 0～10 [デフォルト: 5] |
| 設定 | 設置モード | | | | フロント  [デフォルト] |
| | | | | | リア  |
| | | | | | 天井 - 上部  |
| | | | | | リア - 上部  |
| | ランプ設定 | ランプ警告 | | | オフ |
| | | | | | オン [デフォルト] |
| | | ランプリセット | | | キャンセル [デフォルト] |
| | | | | | はい |
| | フィルター設定 | エアフィルタ取付 | | | はい |
| | | | | | いいえ |
| | | エアフィルタ 使用時間 | | | (読み取り専用) |
| | | エアフィルタ寿命 | | | オフ |
| | | | | | 300時間 |
| | | | | | 500時間 [デフォルト] |
| | | | | | 800時間 |
| | | | | | 1000時間 |
| | | エアフィルタ使用 時間リセット | | | キャンセル [デフォルト] |
| | | | | | はい |
| | 電源設定 | 電源検知オート パワーオン | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | 信号検知オート パワーオン | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | タイマー電源オート パワーオフ | | | 0 ～ 180 (5 分の増分) [デフォルト: 20] |

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設定 | 電源設定 | スリープタイマー(分) | スリープタイマー(分) | | 0 ～ 990 (30 分の増分) [デフォルト: 0] |
| | | | 常にON | | いいえ [デフォルト] |
| | | | | | はい |
| | | クイックレジューム | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | 電源モード (スタンバイ) | | | アクティブ |
| | | | | | エコ [デフォルト] |
| | | USB給電 | | | オフ |
| | | | | | オン |
| | | | | | 自動 [デフォルト] |
| | セキュリティ | セキュリティ | | | オフ |
| | | | | | オン |
| | | セキュリティタイマー | | 月 | |
| | | | | 日 | |
| | | | | 時 | |
| | | パスワード変更 | | | |
| | HDMI Link設定 | HDMI Link | | | オフ |
| | | | | | オン |
| | | モニター連動 | | | いいえ |
| | | | | | はい |
| | | 電源オン設定 | | | 双方向設定 |
| | | | | | プロジェクター->機器 |
| | | | | | 機器->プロジェクター |
| | | 電源オフ設定 | | | オフ |
| | | | | | オン |
| | テストパターン | | | | 緑のグリッド |
| | | | | | マゼンタのグリッド |
| | | | | | 白のグリッド |
| | | | | | 白 |
| | | | | | オフ |
| | リモコン設定 [リモコンによる] | リモコン受光設定 | | | オン |
| | | | | | オフ |
| | | ユーザー1 | | | テストパターン |
| | | | | | 輝度 |
| | | | | | コントラスト |
| | | | | | スリープタイマー [デフォルト] |
| | | | | | カラーマッチング |
| | | | | | 色温度 |
| | | | | | ガンマ |
| | | | | | 設置モード |
| | | | | | ランプ設定 |
| | | | | | ズーム |
| | | | | | フリーズ |

# プロジェクターを使用する

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設定 | リモコン設定 [リモコンによる] | ユーザー2 | | | テストパターン |
| | | | | | 輝度 |
| | | | | | コントラスト |
| | | | | | スリープタイマー |
| | | | | | カラーマッチング [デフォルト] |
| | | | | | 色温度 |
| | | | | | ガンマ |
| | | | | | 設置モード |
| | | | | | ランプ設定 |
| | | | | | ズーム |
| | | | | | フリーズ |
| | | ユーザー3 | | | テストパターン |
| | | | | | 輝度 |
| | | | | | コントラスト |
| | | | | | スリープタイマー |
| | | | | | カラーマッチング |
| | | | | | 色温度 [デフォルト] |
| | | | | | ガンマ |
| | | | | | 設置モード |
| | | | | | ランプ設定 |
| | | | | | ズーム |
| | | | | | フリーズ |
| | オプション | 言語 | | | English [デフォルト] |
| | | | | | Deutsch |
| | | | | | Français |
| | | | | | Italiano |
| | | | | | Español |
| | | | | | Português |
| | | | | | Polski |
| | | | | | Nederlands |
| | | | | | Svenska |
| | | | | | Norsk/Dansk |
| | | | | | Suomi |
| | | | | | ελληνικά |
| | | | | | 繁體中文 |
| | | | | | 简体中文 |
| | | | | | 日本語 |
| | | | | | **한국어** |
| | | | | | Русский |
| | | | | | Magyar |
| | | | | | Čeština |
| | | | | | عـربي |
| | | | | | ไทย |

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設定 | オプション | 言語 | | | Türkçe |
| | | | | | فارسی |
| | | | | | Tiếng Việt |
| | | | | | Bahasa Indonesia |
| | | | | | Română |
| | | | | | Slovenčina |
| | | クローズドキャプション | | | CC1 |
| | | | | | CC2 |
| | | | | | オフ[デフォルト] |
| | | メニュー設定 | メニュー位置 | | 左上  |
| | | | | | 右上  |
| | | | | | 中央  [デフォルト] |
| | | | | | 左下  |
| | | | | | 右下  |
| | | | メニュータイマー | | オフ |
| | | | | | 5 秒 |
| | | | | | 10 秒 [デフォルト] |
| | | 自動ソース | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | 入力ソース | | | HDMI1 |
| | | | | | HDMI 2/MHL |
| | | 入力名 | HDMI1 | | デフォルト [デフォルト] |
| | | | | | カスタム |
| | | | HDMI 2/MHL | | デフォルト [デフォルト] |
| | | | | | カスタム |
| | | 高地モード | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | ディスプレーモードロック | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | キーパッドロック | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | 信号表示 | | | オフ [デフォルト] |
| | | | | | オン |
| | | ロゴ | | | デフォルト [デフォルト] |
| | | | | | ロゴ無し |
| | | | | | ユーザー |

# プロジェクターを使用する

| メイン メニュー | サブ メニュー | サブメニュー 2 | サブメニュー 3 | サブメニュー 4 | 値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設定 | オプション | 背景色 | | | なし[デフォルト] |
| | | | | | 青 |
| | | | | | 赤 |
| | | | | | 緑 |
| | | | | | グレー |
| | | | | | ロゴ |
| | リセット | OSDをリセット | | | キャンセル[デフォルト] |
| | | | | | はい |
| | | 初期状態にリセット | | | キャンセル[デフォルト] |
| | | | | | はい |
| 情報 | 制御 | | | | |
| | シリアル番号 | | | | |
| | 入力源 | | | | |
| | 解像度 | | | | xxxx |
| | リフレッシュ レート | | | | xxHz |
| | ディスプレーモード | | | | |
| | 電源モード (スタンバイ) | | | | |
| | ランプ使用時間 | ブライト | | | 0 hr |
| | | エコ | | | 0 hr |
| | | ダイナミック | | | 0 hr |
| | | エコプラス | | | 0 hr |
| | | 合計 | | | |
| | エアフィルタ 使用時間 | | | | |
| | ブライトネスモード | | | | |
| | FW バージョン | システム | | | |
| | | MCU | | | |

# プロジェクターを使用する

## *ディスプレーメニュー*

### 表示画像設定メニュー

**ディスプレーモード**

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**: 映画を見るために最適な色を提供します。
- **フィルム**: ホームシアター用のもっともピュアな色設定を表示するように選択します。
- **Vivid**: このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **ゲーム**: ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス**: このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。カラー、色温度、コントラスト、γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。動画を見るにはこのモードを選択します。
- **ブライト**: PC入力に対する最大輝度。
- **HDR**: 高ダイナミック範囲 (HDR) コンテンツをデコードし、REC.2020色域を使用して最も深い黒と最も明るい白、鮮やかな映画のようなカラーで表示します。HDRがオンに設定されている場合（かつHDRコンテンツがプロジェクタ、4K UHDブルーレイ、1080p / 4K UHD HDRゲーム、4K UHDストリーミングビデオに送信される場合）に、このモードは自動的に有効になります。HDRでは、他のディスプレーモードのカラーパフォーマンスを超える高精度のカラーが配信されるため、HDRモードがアクティブな間は他のディスプレーモード（シネマ、リファレンスなど）は選択できません。
- **ユーザー**: ユーザー設定を保存します。
- **3D**: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。
- **ISF昼**: 画像を完ぺきに較正できるようにISF昼モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF夜**: 画像を完ぺきに較正できるようにISF夜モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF 3D**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF 3D モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

**注記:** *ISF 日中/夜間表示モードの調整方法については、お近くの販売店にお問い合わせください。*

**ダイナミック範囲**

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

➤ **HDR**

- **オフ**: HDR 処理をオフに切り替えます。オフにすると、プロジェクタはHDRコンテンツをデコードしません。
- **自動**: HDR 信号を自動検出します。

**壁色補正**

この機能を利用し、壁の色に合わせてスクリーンイメージを最適化します。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

**輝度**

画像の輝度を調整します。

**コントラスト**

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

# プロジェクターを使用する

**シャープネス**

画像のシャープネスを調整します。

**カラー**

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

**色あい**

赤と緑のカラーバランスを調整します。

**ガンマ**

γ カーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホーム シアター用。
- **ビデオ**: ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**: PC/フォトソース用。
- **標準(2.2)**: 標準化された設定用。
- **1.8/ 2.0/ 2.4**: 特定の PC/フォトソース用。
- **HDR**: 高ダイナミック範囲 (HDR) コンテンツをデコードし、REC.2020色域を使用して最も深い黒と最も明るい白、鮮やかな映画のようなカラーで表示します。HDRがオンに設定されている場合（かつHDRコンテンツがプロジェクタ、4K UHDブルーレイ、1080p / 4K UHD HDRゲーム、4K UHDストリーミングビデオに送信される場合）に、このモードは自動的に有効になります。HDRでは、他のディスプレーモードのカラーパフォーマンスを超える高精度のカラーが配信されるため、HDRモードがアクティブな間は他のディスプレーモード（シネマ、リファレンスなど）は選択できません。

**色設定**

色設定を行います。

- **BrilliantColor™**: 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度**: 「Warm」、「中速」、または「冷色」 から色温度を選択します。
- **カラーマッチング**: 次のオプションを選択します:
  - カラー: 画像の赤 (R)、緑 (G)、黒 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、および白 (W) レベルを調整します。
  - 色あい: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
  - 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
  - ゲイン: 画像の明るさを調整します。
  - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: 「カラーマッチング」メニューを終了します。
- **RGBゲイン/バイアス**: この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: 「RGBゲイン/バイアス」メニューを終了します。
- **カラースペース** : 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 「自動」、「RGB (0-255)」、「RGB (16-235)」、および「YUV」。

**ブライトネスモード**

ランプ土台プロジェクター用のブライトネスモード設定を調整します。

- **ブライト**: 「ブライト」を選択すると明るさが増します。

- **エコ**:「エコ」を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- **ダイナミック**:「ダイナミック」を選択すると、コンテンツの輝度レベルを基にランプが薄暗くなるとともに、ランプの消費電力を動的に 100% ～ 30% の間で調整します。これにより、ランプの寿命が長くなります。
- **エコプラス**: エコプラスモードがアクティブになっているとき、コンテンツの輝度レベルが自動的に検出され、未使用時におけるランプの消費電力を大幅に (最大 70%) 削減します。

**リセット**

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

## ディスプレーの強化されたゲームメニュー

**強化されたゲーム**

この機能を有効にすると、ゲーム中の応答時間 (入力待ち時間) を 16 ミリ秒 * に短縮できます。

**注記:** ** 1080p 60Hz 信号の場合のみ。*

## ディスプレーの 3D メニュー

**3Dモード**

このオプションを使って、3D 機能を無効にするか、適切な 3D 機能を選択します。

- **オフ**:「オフ」を選択すると、3D モードがオフになります。
- **DLPリンク**: 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **赤外線方式**:「赤外線方式」を選択して、赤外線 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。

**3D->2D**

このオプションを使って、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D**: 3D信号を表示します。
- **L (左)**: 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **R (右)**: 3D コンテンツの右フレームを表示します。

**注記:** *入力ソースを3Dから2Dに変更する時には、**3Dモード**設定が**オフ**に設定されているか確認してください。設定されていないと、2D入力ソースが歪んで表示されます（デュアルイメージ）。*

**3D映像フォーマット**

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド**:「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム**: 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル**: 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

**3D同期反転**

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

# プロジェクターを使用する

## アスペクト比メニューの表示

**アスペクト比**

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **LBX**: 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **Native**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

**注記:**

- *各アスペクトモードで 1080p の解像度で画像の周りに黒いバーが表示されるのは正常です。*
- *アスペクト比に応じて、黒いバーと境界線のサイズが変わります。*




**注記:**

- *LBX モードに関する詳細情報:*
  - *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。*
  - *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。*
- *スーパーワイドフォーマットを使用するには、以下を行います:*
  a) *画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。*
  b) *プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。*

# プロジェクターを使用する

**1080P スケーリングテーブル:**

| 16:9 画面 | 480i/p | 576i/p | 1080i/p | 720p | PC |
|---|---|---|---|---|---|
| 4x3 | 1440x1080 にスケーリングします。 | | | | |
| 16x9 | 1920x1080 にスケーリングします。 | | | | |
| LBX | 1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。 | | | | |
| Native | - 1:1 中央にマッピング。<br>- スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。 | | | | |

## 表示エッジマスクメニュー

**エッジマスク**

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

## 表示ズームメニュー

**ズーム**

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

## 表示画像シフトメニュー

**映像移動調整**

投影される画像の位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

## 表示キーストンメニュー

**キーストン**

プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。

# *オーディオメニュー*

## オーディオミュートメニュー

**ミュート**

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- オフ:「オフ」を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- オン:「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

**注記:**

- *「ミュート」機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*
- *外部スピーカーを接続すると、内部スピーカーは自動的にミュートされます。*

## オーディオボリュームメニュー

**音量**

オーディオ音量レベルを調整します。

# プロジェクターを使用する

## 設定メニュー

### 投影設定メニュー

**設置モード**

正面、裏面、天井 - 上部、および裏面 - 上部からお好みの投影を選択します。

### ランプ設定メニュー

**ランプ警告**

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

**ランプリセット**

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

### フィルタ設定メニュー

**エアフィルタ取付**

警告メッセージを設定します。

- **はい**: 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

**注記:** *「エアフィルタ使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルタ使用時間リセット」は「エアフィルタ取付」が「はい」の場合にのみ表示されます。*

- **いいえ**: 警告メッセージをオフにします。

**エアフィルタ使用時間**

エアマスク使用時間を表示します。

**エアフィルタ寿命**

フィルタ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションには、オフ、300時間, 500時間、800時間、および 1000時間 があります。

**エアフィルタ使用時間リセット**

ダスト エアマスクを交換または洗浄した後、ダスト エアマスク カウンタをリセットしてください。

### 電源設定メニュー

**電源検知オートパワーオン**

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

**信号検知オートパワーオン**

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

**注記:** *「信号検知オートパワーオン」オプションが「オン」に切り替えられている場合、スタンバイモードでのプロジェクターの消費電力は3W以上になります。*

**タイマー電源オートパワーオフ**

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

**スリープタイマー(分)**

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー(分)**: カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

  **注記:** *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*
- **常にON**: スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。

**クイックレジューム**

クイックレジュームを設定します。

- **オフ**: プロジェクタをオフにすると、システムは 10 秒後に冷却を開始します。
- **オン:** プロジェクタが偶発的にオフになってしまった場合、100 秒以内に選択すれば、この機能を介してプロジェクタの電源を直ちにオンにすることができます。

**電源モード(スタンバイ)**

電源モードを設定します。

- **アクティブ**:「アクティブ」を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- **エコ**:「エコ」を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。

**注記:** *「信号検知オートパワーオン」が有効である場合、アクティブスタンバイでファンを動作し続けます。*

**USB給電**

USB 電源を設定します。

- **オフ**: USB 電源機能がオフです。
- **オン**: プロジェクターの電力は常に USB 電源で供給されます。
- **自動**: プロジェクターの電力は自動的に USB 電源で供給されます。

## セキュリティ設定メニュー

**セキュリティ**

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オフ**:「オフ」を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。
- **オン**:「オン」を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。

**セキュリティタイマー**

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。

**パスワード変更**

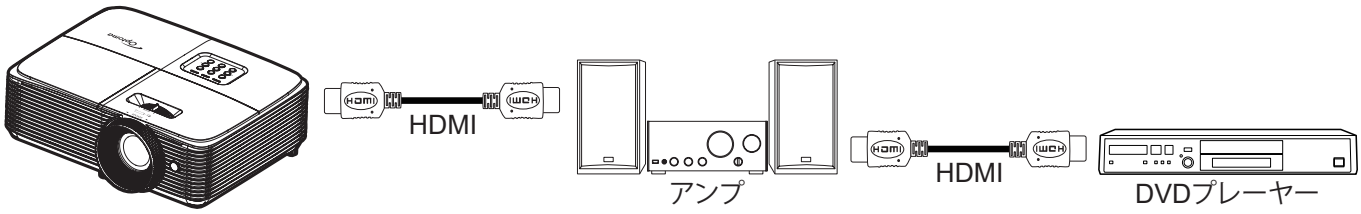
プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

# プロジェクターを使用する

## HDMI Link 設定メニューの設定

**注記:**

- *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSDで HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*




**HDMI Link**

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。モニター連動、電源オンリンク、電源オフリンクオプションは設定が「オン」に設定されている場合のみ使用できます。

**モニター連動**

テレビとプロジェクターを同時に自動的にオフする場合は、「はい」に設定します。両方のデバイスが同時にオフにならないように、設定を「いいえ」にします。

**電源オン設定**

CEC 電源オンコマンド。

- 双方向設定: プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
- プロジェクター->機器: プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- 機器->プロジェクター: CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

**電源オフ設定**

この機能を有効にして、HDMI Link とプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

## テストパターンメニューの設定

**テストパターン**

テストパターンを緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白のグリッド、白から選択するか、この機能を無効にします (オフ)。

## リモート設定メニュー

**リモコン受光設定**

リモコン受光設定を行います。

- オン: 「オン」を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- オフ: 「オフ」 を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

**ユーザー1/ ユーザー2/ユーザー3**

ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3の既定の機能をテストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、ランプ設定、ズーム、フリーズから割り当てます。

# プロジェクターを使用する

## オプション設定メニュー

### 言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ度、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語/デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語、およびスロバキア語から選択します。

### クローズドキャプション

「クローズドキャプション」はプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。利用可能オプションは、「オフ」、「CC1」、および「CC2」です。

**注記:** *クローズドキャプションは、ビデオ NTSC の場合のみ利用可能です。*

### メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置**: スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー**: OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

### 自動ソース

このオプション を「オン」に設定し、プロジェクターキーパッドの ボタンか、リモコンの ボタンを押すと、次に入力可能な入力ソースが自動的に選択されます。「オフ」を設定すると、自動ソース機能が無効になります。

### 入力ソース

入力ソースとして HDMI1 または HDMI 2/MHL を選択します。

### 入力名

簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、HDMI1 および HDMI 2/MHL です。

### 高地モード

「オン」を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

### ディスプレーモードロック

「オン」または「オフ」を選択し、ディスプレーモード設定の調整をロックまたはロック解除します。

### キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」になっている時、キーパッドはロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

### 信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オフ**: 「オフ」 を選択すると、「検出中」 メッセージが表示されます。
- **オン**: 「オン」を選択すると、情報メッセージが非表示になります。

### ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト**: デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し**: ロゴは起動画面に表示されません。
- **ユーザー**: 保存した画像を起動画面として使用します。

# プロジェクターを使用する

**背景色**

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

**注記:** *背景色が「なし」に設定されている場合、背景色は黒になります。*

## リセットメニューの設定

**OSDをリセット**

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

**初期状態にリセット**

設定メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# *情報メニュー*

## 情報メニュー

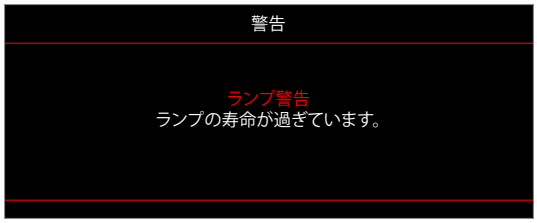
以下のプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレーモード
- 電源モード(スタンバイ)
- ランプ使用時間
- エアフィルタ使用時間
- ブライトネスモード
- FW バージョン

# 保守管理

## ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づくと、画面に警告メッセージが表示されます。




このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。



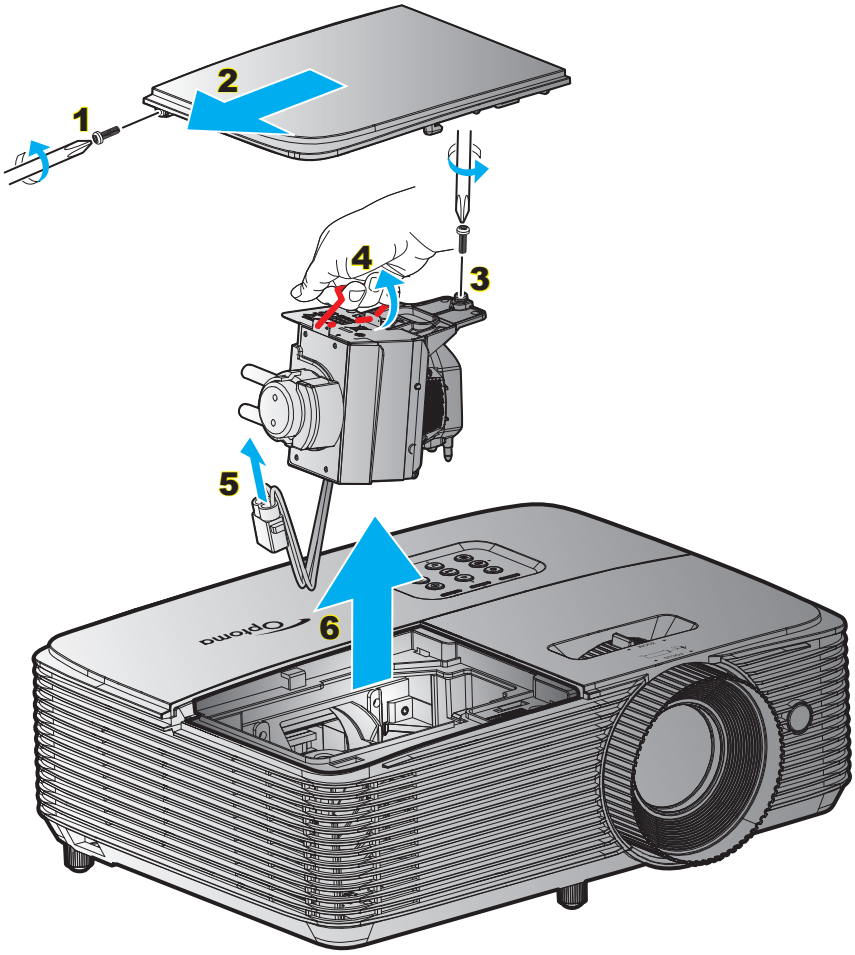

警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

# 保守管理

## ランプの交換 (続き)




手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにあるネジをゆるめます。1
5. カバーを取り外します。2
6. ランプモジュールにあるネジをゆるめます。3
7. ランプハンドルを持ち上げます。4
8. ランプコードを取り外します。5
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。6
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクタの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i)「メニュー」を押し → (ii)「設定」を選択し→ (iii)「ランプ設定」を選択し→ (iv)「ランプリセット」を選択し→ (v)「はい」を選択します。

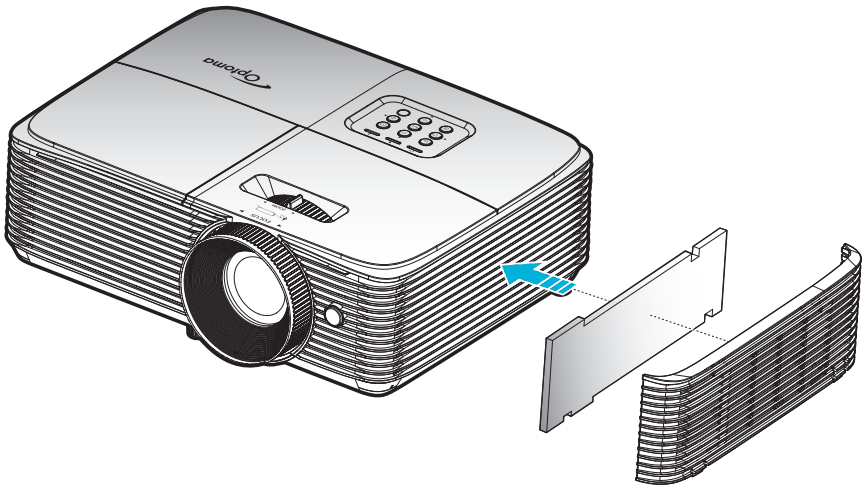
**注記:**

- *ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。*
- *プロジェクタにランプ カバーが戻されなかった 場合、プロジェクターは動作しません。*
- *ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。*

# 保守管理

## ダストフィルタの取り付けと洗浄

### ダストフィルタの取り付け



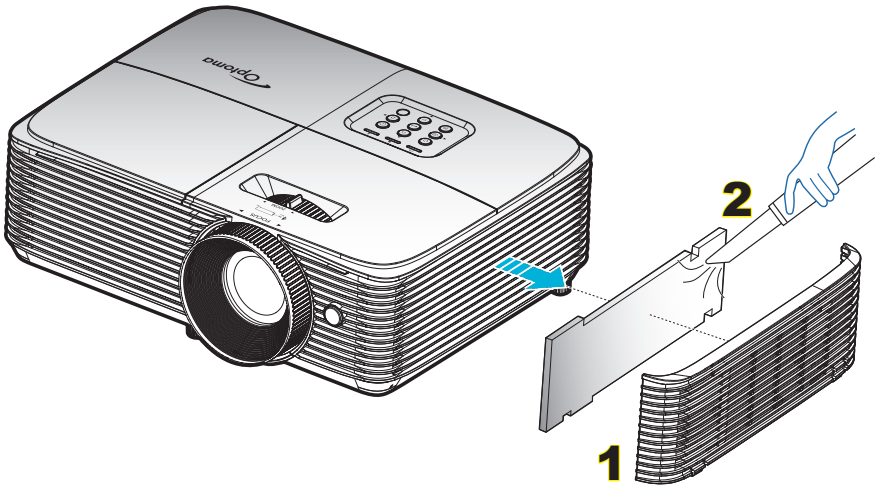
**注記:** *ダストフィルターは、埃が過度に多い、一部の地域でのみ必要であり、同梱されます。*

### ダストフィルタの洗浄

ダストフィルタを 3 ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は洗浄の頻度を多くしてください。

手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. ダストフィルタを注意深く取り外します。1
4. ダストフィルターを掃除または交換してください。2
5. ダストフィルタを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



# 追加情報

## 対応解像度

*デジタル互換性*

| B0/確立タイミング | B0/標準タイミング | B0/詳細タイミング | B1/ビデオモード | B1/詳細タイミング |
|---|---|---|---|---|
| 720 x 400 @ 70Hz | 1280 x 720 @ 60Hz | ネーティブタイミング: | 640 x 480p @ 60Hz | 720 x 480p @ 60Hz |
| 640 x 480 @ 60Hz | 1280 x 800 @ 60Hz | XGA: 1024 x 768 @ 60Hz | 720 x 480p @ 60Hz | 1280 x 720p @ 60Hz |
| 640 x 480 @ 67Hz | 1280 x1024 @ 60Hz | WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz | 1280 x 720p @ 60Hz | 1366 x 768 @ 60Hz |
| 640 x 480 @ 72Hz | 1400 x 1050 @ 60Hz | 1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz | 1920 x 1080i @ 60Hz | 1920 x 1080i @ 50Hz |
| 640 x 480 @ 75Hz | 1600 x 1200 @ 60Hz | | 720 (1440) x 480i @ 60Hz | 1920 x 1080p @ 60Hz |
| 800 x 600 @ 56Hz | 1440 x 900 @ 60Hz | | 1920 x 1080p @ 60Hz | |
| 800 x 600 @ 60Hz | 1280 x 720 @ 120Hz | | 720 x 576p @ 50Hz | |
| 800 x 600 @ 72Hz | 1024 x 768 @ 120Hz | | 1280 x 720p @ 50Hz | |
| 800 x 600 @ 75Hz | | | 1920 x 1080i @ 50Hz | |
| 832 x 624 @ 75Hz | | | 720 (1440) x 576i @ 50Hz | |
| 1024 x 768 @ 60Hz | | | 1920 x 1080p @ 50Hz | |
| 1024 x 768 @ 70Hz | | | 1920 x 1080p @ 24Hz | |
| 1024 x 768 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 30Hz | |
| 1280 x 1024 @ 75Hz | | | | |
| 1152 x 870 @ 75Hz | | | | |

*HDMI1.4 for HDMI 2*

| B0/確立タイミング | B0/標準タイミング | B0/詳細タイミング | B1/ビデオモード | B1/詳細タイミング |
|---|---|---|---|---|
| 720 x 400 @ 70Hz | 1280 x 720 @ 60Hz | ネーティブタイミング: | 720 x 480i @ 60Hz | 1280 x 720p @ 60Hz |
| 640 x 480 @ 60Hz | 1280 x 800 @ 60Hz | 1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz | 720 x 576i @ 50Hz | 1366 x 768 @ 60Hz |
| 640 x 480 @ 67Hz | 1280 x1024 @ 60Hz | | 720 x 480P @ 60Hz | 1920 x 1080p @ 120Hz |
| 640 x 480 @ 72Hz | 1400 x 1050 @ 60Hz | | 720 x 576p @ 60Hz | 3840 x 2160 @ 30Hz |
| 640 x 480 @ 75Hz | 1600 x 1200 @ 60Hz | | 1280 x 720p @ 50Hz | |
| 800 x 600 @ 56Hz | 1440 x 900 @ 60Hz | | 1280 x 720P @ 60Hz | |
| 800 x 600 @ 60Hz | 1280 x 720 @ 120Hz | | 1920 x 1080i @ 50Hz | |
| 800 x 600 @ 72Hz | 1024 x 768 @ 120Hz | | 1920 x 1080i @ 60Hz | |
| 800 x 600 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 50Hz | |
| 832 x 624 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 60Hz | |
| 1024 x 768 @ 60Hz | | | 1920 x 1080p @ 24Hz | |
| 1024 x 768 @ 70Hz | | | 1920 x 1080p @ 25Hz | |
| 1024 x 768 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 30Hz | |
| 1280 x 1024 @ 75Hz | | | 640 x 480p @ 60Hz | |
| 1152 x 870 @ 75Hz | | | 720 x 480p @ 60Hz | |
| | | | 720 x 576P @ 50Hz | |
| | | | 720 x 480i @ 60Hz | |
| | | | 2880 x 480i @ 60Hz | |
| | | | 1440 x 480p @ 60Hz | |
| | | | 2880 x 576i @ 50Hz | |
| | | | 1440 x 576p @ 50Hz | |
| | | | 1440 x 576i @ 50Hz | |

# 追加情報

*HDMI2.0 For HDMI 1*

| B0/確立タイミング | B0/標準タイミング | B0/詳細タイミング | B1/ビデオモード | B1/詳細タイミング |
|---|---|---|---|---|
| 720 x 400 @ 70Hz | 1280 x 720 @ 60Hz | ネーティブタイミング: | 720 x 480i @ 60Hz | 3840 x 2160 @ 60Hz |
| 640 x 480 @ 60Hz | 1280 x 800 @ 60Hz | 1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz | 720 x 576i @ 50Hz | 1920 x 1080p @ 120Hz |
| 640 x 480 @ 67Hz | 1280 x1024 @ 60Hz | | 720 x 480P @ 60Hz | |
| 640 x 480 @ 72Hz | 1400 x 1050 @ 60Hz | | 720 x 576p @ 50Hz | |
| 640 x 480 @ 75Hz | 1600 x 1200 @ 60Hz | | 1280 x 720p @ 50Hz | |
| 800 x 600 @ 56Hz | 1440 x 900 @ 60Hz | | 1280 x 720P @ 60Hz | |
| 800 x 600 @ 60Hz | 1280 x 720 @ 120Hz | | 1920 x 1080i @ 50Hz | |
| 800 x 600 @ 72Hz | 1024 x 768 @ 120Hz | | 1920 x 1080i @ 60Hz | |
| 800 x 600 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 50Hz | |
| 832 x 624 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 60Hz | |
| 1024 x 768 @ 60Hz | | | 1920 x 1080p @ 24Hz | |
| 1024 x 768 @ 70Hz | | | 1920 x 1080p @ 25Hz | |
| 1024 x 768 @ 75Hz | | | 1920 x 1080p @ 30Hz | |
| 1280 x 1024 @ 75Hz | | | 640 x 480p @ 60Hz | |
| 1152 x 870 @ 75Hz | | | 720 x 480p @ 60Hz | |
| | | | 720 x 576P @ 50Hz | |
| | | | 720 x 480i @ 60Hz | |
| | | | 2880 x 480i @ 60Hz | |
| | | | 1440 x 480p @ 60Hz | |
| | | | 2880 x 576i @ 50Hz | |
| | | | 1440 x 576p @ 50Hz | |
| | | | 1440 x 576i @ 50Hz | |
| | | | 3840 x 2160p @ 24Hz | |
| | | | 3840 x 2160p @ 25Hz | |
| | | | 3840 x 2160p @ 30Hz | |
| | | | 3840 x 2160p @ 50Hz | |
| | | | 3840 x 2160p @ 60Hz | |
| | | | 4096 x 2160p @ 24Hz | |
| | | | 4096 x 2160p @ 25Hz | |
| | | | 4096 x 2160p @ 30Hz | |
| | | | 4096 x 2160p @ 50Hz | |
| | | | 4096 x 2160p @ 60Hz | |

# 追加情報

*True 3D ビデオ互換性*

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ***入力解像度*** | HDMI 1.4a3D 入力 | 入力タイミング | | |
| | | 1280 x 720P @ 50Hz | 最上部から底部まで | |
| | | 1280 x 720P @ 60Hz | 最上部から底部まで | |
| | | 1280 x 720P @ 50Hz | フレームパッキング | |
| | | 1280 x 720P @ 60Hz | フレームパッキング | |
| | | 1920 x 1080i @ 50Hz | サイドバイサイド(ハーフ) | |
| | | 1920 x 1080i @ 60Hz | サイドバイサイド(ハーフ) | |
| | | 1920 x 1080P @ 24Hz | 最上部から底部まで | |
| | | 1920 x 1080P @ 24Hz | フレームパッキング | |
| | HDMI 1.3 | 1920 x 1080i @ 50Hz | サイドバイサイド(ハーフ) | SBS モードがオン |
| | | 1920 x 1080i @ 60Hz | | |
| | | 1280 x 720P @ 50Hz | | |
| | | 1280 x 720P @ 60Hz | | |
| | | 1920 x 1080i @ 50Hz | 最上部から底部まで | TAB モードがオン |
| | | 1920 x 1080i @ 60Hz | | |
| | | 1280 x 720P @ 50Hz | | |
| | | 1280 x 720P @ 60Hz | | |
| | | 480i 1024 x 768 @ 120Hz | HQFS | 3D フォーマットが Frame Sequential |
| | | 1280 x 720 @ 120Hz | | |

**注記:**

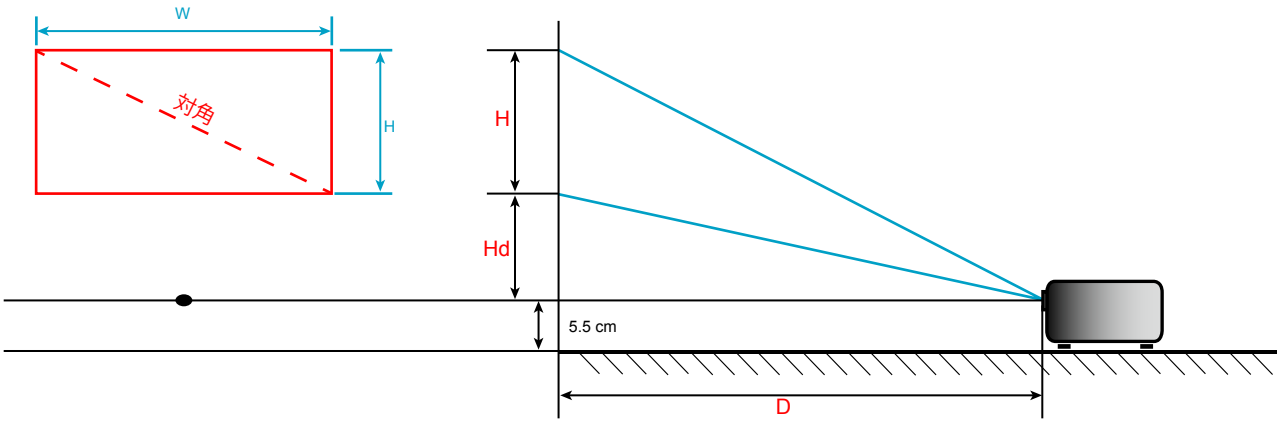
- *3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。*
- *Optoma から特許料がない場合、NVIDIA 3DTV Play をサポートします。*
- *1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100Hz で動作し、1080p@24Hz は 144Hz で動作します。その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。*

# 追加情報

## イメージサイズと投射距離

| (16:9) 画面の対角長さサイズ | | 画面サイズ 幅 x 高さ | | | | プロジェクションの距離（D） | | | | オフセット(Hd) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (m) | | (インチ) | | (m) | | (フィート) | | | |
| (m) | (フィート) | 幅 | 高さ | 幅 | 高さ | 幅 | 望遠 | 幅 | 望遠 | (m) | (インチ) |
| 0.76 | 30 | 0.66 | 26.15 | 0.37 | 14.71 | 1.0 | 3.28 | 1.1 | 3.61 | 0.06 | 2.36 |
| 1.02 | 40 | 0.89 | 34.86 | 0.5 | 19.6 | 1.3 | 4.27 | 1.4 | 4.59 | 0.08 | 3.15 |
| 1.27 | 50 | 1.11 | 43.58 | 0.62 | 24.5 | 1.6 | 5.25 | 1.8 | 5.91 | 0.10 | 3.94 |
| 1.52 | 60 | 1.33 | 52.29 | 0.75 | 29.4 | 2.0 | 6.56 | 2.2 | 7.22 | 0.12 | 4.72 |
| 1.78 | 70 | 1.55 | 61.01 | 0.87 | 34.3 | 2.3 | 7.55 | 2.5 | 8.20 | 0.14 | 5.51 |
| 2.03 | 80 | 1.77 | 69.73 | 1 | 39.2 | 2.6 | 8.53 | 2.9 | 9.51 | 0.16 | 6.30 |
| 2.29 | 90 | 1.99 | 78.44 | 1.12 | 44.1 | 2.9 | 9.51 | 3.2 | 10.50 | 0.18 | 7.09 |
| 2.54 | 100 | 2.21 | 87.16 | 1.25 | 49 | 3.3 | 10.83 | 3.6 | 11.81 | 0.19 | 7.48 |
| 3.05 | 120 | 2.66 | 104.59 | 1.49 | 58.8 | 3.9 | 12.80 | 4.3 | 14.11 | 0.24 | 9.45 |
| 3.81 | 150 | 3.32 | 130.74 | 1.87 | 73.5 | 4.9 | 16.08 | 5.4 | 17.72 | 0.30 | 11.81 |
| 4.57 | 180 | 3.98 | 156.88 | 2.24 | 88.2 | 5.9 | 19.36 | 6.5 | 21.33 | 0.36 | 14.17 |
| 5.08 | 200 | 4.43 | 174.32 | 2.49 | 98.1 | 6.6 | 21.65 | 7.2 | 23.62 | 0.40 | 15.75 |
| 6.35 | 250 | 5.53 | 217.89 | 3.11 | 122.6 | 8.2 | 26.90 | 9.0 | 29.53 | 0.50 | 19.69 |
| 7.62 | 300 | 6.64 | 261.47 | 3.74 | 147.1 | 9.8 | 32.15 | 10.8 | 35.43 | 0.59 | 23.23 |

**注記:** *ズーム比は 1.1x です。*

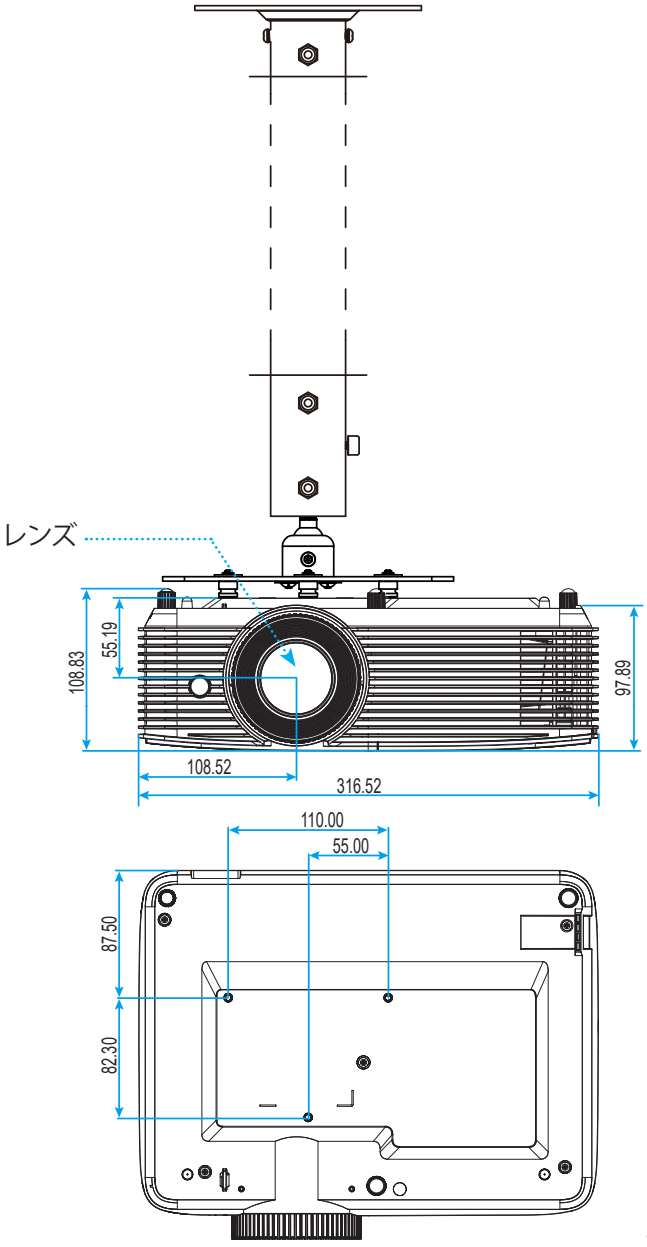


# 追加情報

## プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い:

- ジの種類: M4*3
- 最小ネジ長: 10mm




単位: mm

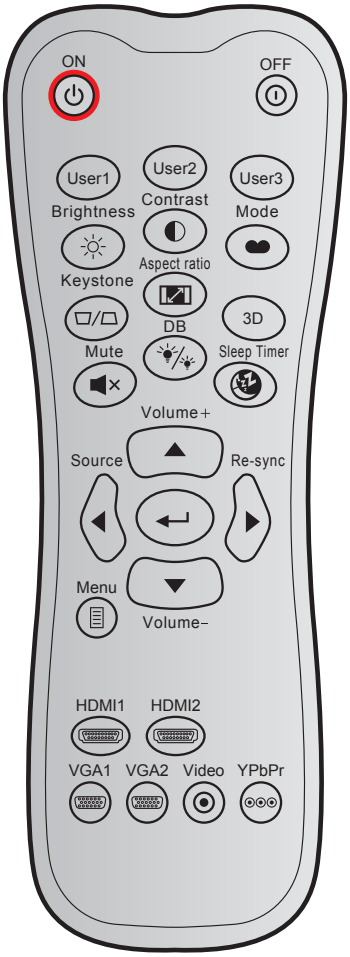
**注記:** *プロジェクタを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクタの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。

# 追加情報

## IR リモートコード




| キー | | カスタムコード | | データコード | 印刷キーの定義 | 説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | バイト 1 | バイト 2 | バイト 3 | | |
| 電源オン | | 32 | CD | 02 | オン | 押すとプロジェクターの電源がオンになります。 |
| 電源オフ | | 32 | CD | 2E | オフ | 押すとプロジェクターの電源がオフになります。 |
| ユーザー 1 | | 32 | CD | 36 | ユーザー1 | ユーザー定義キー。設定については*36* ページをご参照ください。 |
| ユーザー 2 | | 32 | CD | 65 | ユーザー2 | |
| ユーザー 3 | | 32 | CD | 66 | ユーザー3 | |
| 輝度 | | 32 | CD | 41 | 輝度 | 画像の輝度を調整します。 |
| コントラスト | | 32 | CD | 42 | コントラスト | 映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。 |
| ディスプレーモード | | 32 | CD | 05 | モード | さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレーモードを選択してください。*29 ページを参照*してください。 |
| キーストン | | 32 | CD | 07 | キーストン | プロジェクタを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。 |
| アスペクト比 | | 32 | CD | 64 | アスペクト比 | これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。 |
| 3D | | 32 | CD | 89 | 3D | 3Dコンテンツに一致する3D モードを手動で選択します。 |

# 追加情報

| キー | | カスタムコード | | データコード | 印刷キーの定義 | 説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | バイト 1 | バイト 2 | バイト 3 | | |
| 音量 + |  | 32 | CD | 09 | 音量 + | 調整して、音量を上げます。 |
| 4 方向キー |  | 32 | CD | 11 | ▲ | ▲、◄、►、または ▼ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。 |
| | | 32 | CD | 10 | ◄ | |
| | | 32 | CD | 12 | ► | |
| | | 32 | CD | 14 | ▼ | |
| 入力源 |  | 32 | CD | 18 | 入力源 | 「Source」を押して入力信号を選択します。 |
| Enter キー |  | 32 | CD | 0F |  | 選択した項目を確定します。 |
| 再同期 |  | 32 | CD | 04 | 再同期 | プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。 |
| 音量 - |  | 32 | CD | 0C | 音量 - | 調整して、音量を下げます。 |
| メニュー |  | 32 | CD | 0E | メニュー | プロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。 |
| HDMI 1 |  | 32 | CD | 16 | HDMI1 | 「HDMI1」を押して、HDMI 1 端子からソースを選択します。 |
| HDMI 2 |  | 32 | CD | 30 | HDMI2 | 「HDMI2」を押して HDMI 2 / MHL 端子からソースを選択します。 |
| VGA1 |  | 32 | CD | 1B | VGA1 | 機能なし |
| VGA2 |  | 32 | CD | 1E | VGA2 | 機能なし |
| ビデオ |  | 32 | CD | 1C | ビデオ | 機能なし |
| YPbPr |  | 32 | CD | 17 | YPbPr | 機能なし |

# 追加情報

## トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

**画像の問題**

*画面に画像が表示されない*

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ランプが確実に取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

*画像のピントが合っていない*

- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射画面がプロジェクタから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*45* ページを参照してください)。

*16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる*

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

*画像が大きすぎる、または小さすぎる*

- プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの「メニュー」を押し、「ディスプレー → アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。

*画像が横に傾く:*

- 可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整するには、OSDから「ディスプレー → キーストン」を使用します。

*画像が反転する*

- OSDから「設定 → 設置モード」を選択し、投射方向を調整します。

# 追加情報

*ぼやけた二重画像*

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、「3D」ボタンを押して「自動」にしてください。

*2つの画像、サイドバイサイドフォーマット*

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、「3D」ボタンを押して「サイドバイサイド」に切り替えてください。

*3Dで画像が表示されません*

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) になっているとき、「3D」ボタンを押して「サイドバイサイド」に切り替えてください。

**その他の問題**

*プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します*

- 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

*ランプが消える、またはランプから破裂音がする*

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。ランプを交換する場合は、「ランプの交換」 (*39-40*ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。

**リモコンの問題**

*リモコンが作動しない場合、次を確認してください*

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクタから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

# 追加情報

## 警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

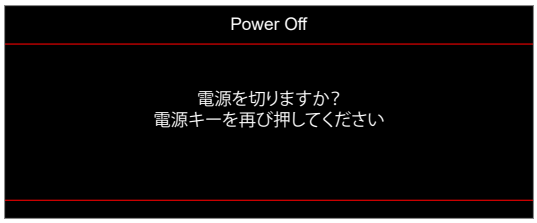
- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクタが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクタのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

### LED 点灯メッセージ

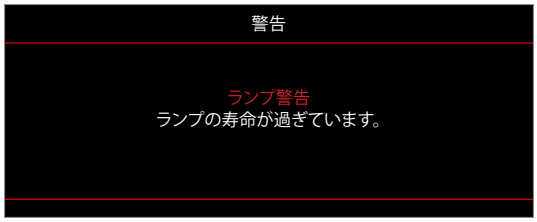
| メッセージ | 電源 LED | 電源 LED | 温度インジケータ LED | ランプ インジケータ LED |
|---|---|---|---|---|
| | (赤) | (緑または青) | (赤) | (赤) |
| スタンバイ状態<br>(入力コード) | 不動灯 | | | |
| 電源オン(ウォーミング) | | 点滅<br>(0.5 秒オフ/<br>0.5 秒オン) | | |
| ランプのライトをオンにします。 | | 不動灯 | | |
| 電源オフ(冷却) | | 点滅<br>(0.5 秒オフ/<br>0.5 秒点灯)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。 | | |
| クイックレジューム<br>(100 秒) | | 点滅<br>(0.25 秒オフ/<br>0.25 秒オン) | | |
| エラー(ランプトラブル) | 点滅 | | | 不動灯 |
| エラー (ファンが異常です) | 点滅 | | 点滅 | |
| エラー(過熱) | 点滅 | | 不動灯 | |
| スタンバイ状態<br>(バーンインモード) | | 点滅 | | |
| バーンイン (暖かくする) | | 点滅 | | |
| バーンイン (冷たくする) | | 点滅 | | |

- 電源オフ:

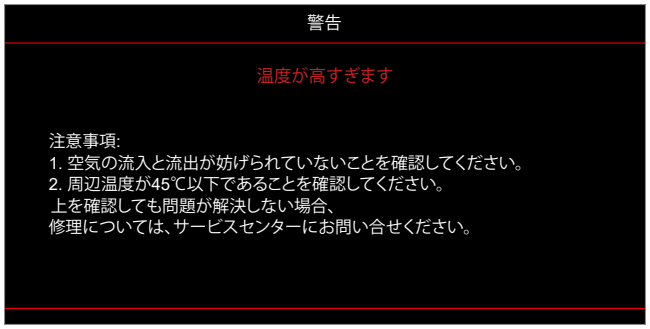


# 追加情報

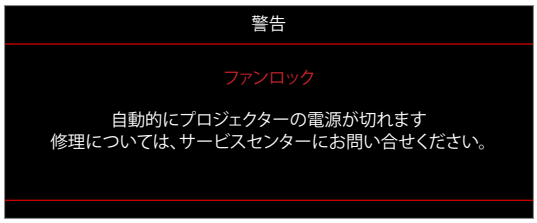
- ランプ警告:




- 温度警告:



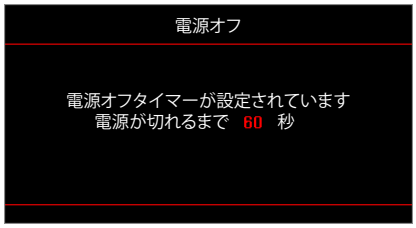

- ファンのトラブル:



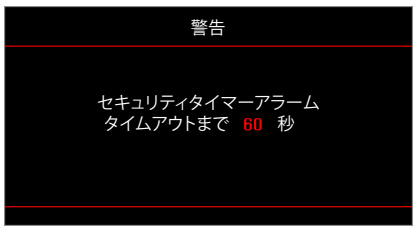

- 表示範囲外:




- 電源ダウン警告:




- セキュリティタイマーアラーム:



# 追加情報

## 仕様

| 光学 | 説明 |
|---|---|
| ネイティブ解像度 | 1080p |
| 最大解像度 | 3840 x 2160 ( 60Hz) HDMI 2.0用 |
| レンズ | 手動ズームと手動フォーカス |
| イメージサイズ (対角) | 28″ ~ 301″ |
| 投射距離 | 1m ～ 10m (フォーカス範囲) |

| 電気 | 説明 |
|---|---|
| 入力 | - HDMI 2の場合HDCP2.2対応HDMI 1.4<br>- HDMI 1の場合HDCP2.2対応HDMI 2.0 |
| 出力 | - オーディオ出力<br>- USB 充電 (5V/1.5A) |
| コントロール | - 3D 同期 VESA<br>- USB（USB操作によるファームウェアアップグレード、リモートマウス、ページ上/下） |
| 色再現 | 10 億 7340 万色 |
| スキャン速度 | - 水平スキャン速度: 15.375 ～ 91.146 KHz<br>- 垂直スキャン速度: 50 ～ 85 Hz (3D 機能プロジェクターの場合 120Hz) |
| 同期互換性 | 個別同期 |
| 内蔵スピーカー | はい、10W |
| 電力要件 | 100 - 240V AC 50/60Hz |
| 入力電流 | 3.3A |
| 消費電力 | 明るい:<br>- 標準 245W 最大 270W @ 110VAC<br>- 標準 240W 最大 264W @ 220VAC<br>エコ:<br>- 標準 205W 最大 226W @ 110VAC<br>- 標準 200W 最大 220W @ 220VAC |

| 機械 | 説明 |
|---|---|
| 取り付け方向 | フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部 |
| 寸法 | - 369 mm (幅) x 295 mm (奥行) x 123 mm (高さ) (フットを除く)<br>- 369 mm (幅) x 295 mm (奥行) x 135 mm (高さ) (フットを含む) |
| 重さ | 2.8 ± 0.5kg |
| 環境条件 | 5 ～ 40℃、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作 |

**注記:** *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

# 追加情報

## Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

### アメリカ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

### カナダ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

### 中南米及びメキシコ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

### ヨーロッパ
Unit 1, Network 41, Bourne End Mills
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

### Benelux BV
Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl
+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

### フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

### スペイン
C/ José Hierro, 36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

### ドイツ
Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany
+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

### スカンディナビア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

### 韓国
WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
Seoul,135-815, KOREA
korea.optoma.com
+82+2+34430004
+82+2+34430005

### 日本
東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター: 0120-380-495
info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

### 台湾
12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw
+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

### 香港
Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong
+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

### 中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn



P/N:36.7EH01G001-A

www.optoma.com